



スパークコントローラー DC24V/12Vバッテリー用

MB-804

取扱説明書

この度は、「MB-804：スパークコントローラー」を御買い上げいただき誠にありがとうございます。

本製品は、溶接作業時に発生する迷走大電流／大電圧を吸収して消波する（車両からバッテリーを外すことなく、溶接作業等を行うことができる）画期的なアイテムであり、これにより車載コンピューター損傷等のトラブル発生を防止できます。

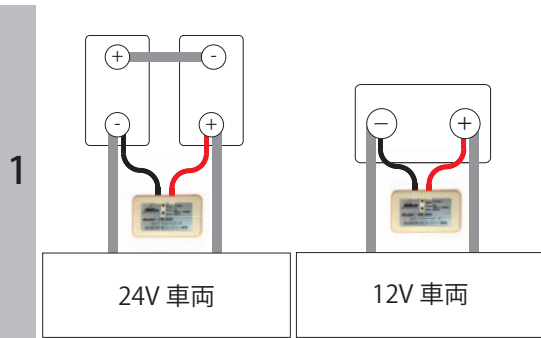
正しく安全にご使用いただくため、作業前には必ず本取扱説明書をお読みください。
また、十分内容を理解した上でご使用ください。
更に、各作業車毎にメーカーの整備要領書を用意しメーカー指示に従って作業を行ってください。
ご使用前には内容品の確認と使用時における注意事項を熟読頂き、ご理解の上でご使用くださいますようお願い致します。



注意事項

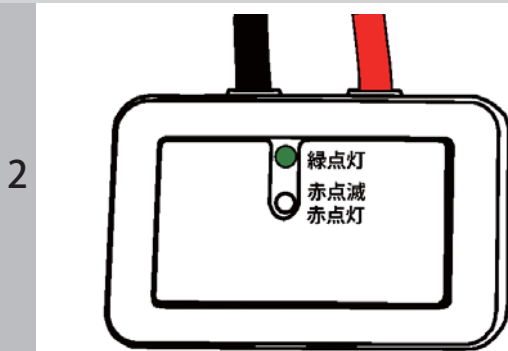
- ※赤クリップをバッテリーの⊕端子、黒クリップをバッテリーの⊖端子へ接続し必ず緑ランプ点灯を確認してから作業を行ってください。
- ※正しく接続した状態で赤ランプが点灯したまま、またはどちらのランプも点灯しない場合は使用を中止して弊社サービス部へ点検をお申し付けください。
- ※雨・雪などがかかる場所や、高温・湿気・ほこり・振動の激しい所では使用及び保管はしないでください。また、ぬれた手で作業を行わないでください。
- ※本体の分解・改造は大変危険です。思わぬトラブルにつながりますので絶対に行わないでください。
- ※ハイブリッド車や電気自動車等に使用する場合、必ず高電圧バッテリーのプラグを外して高電圧回路を遮断隔離してから通常の12V始動用バッテリーへセットしてください。
- ※作業終了後に本製品を床(地面)に置かないでください。強い衝撃や車両等で踏むと破損します。

使用方法



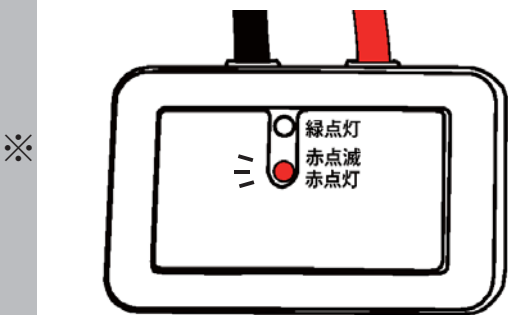
①本工具を車両と繋がっている端子に接続して下さい。
(本工具の赤いワニグチをバッテリーの⊕端子に、黒いワニグチを⊖端子に接続してください。)

※メイン電装部が 12V 作動の車両に、DC24V の後付架装を設置している特殊な車両 (バッテリーが 2 ヶ使用されている車両) の場合は本製品が 2 ヶ必要となります。この場合の接続の仕方は後述します。



②問題無く接続すると、緑ランプが点灯します。

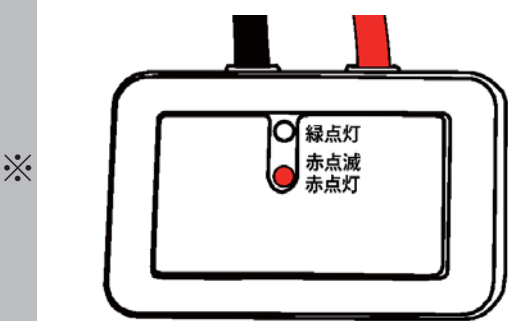
ワニグチの接続を逆にした場合はランプは点灯しません。正しく接続して緑ランプが点灯するのを確認してから溶接作業を開始して下さい。



※溶接時に、溶接ノイズの吸収を検知した場合

赤ランプが点滅してブザー音が鳴り出した場合は溶接作業を速やかに中止して下さい。

※溶接機、アース及び溶接箇所などに異常が無いか確認してください。
※そのまま作業を続けると、本工具や電子機器が破損する恐れがあります。
※溶接ノイズが許容上限に近づくにつれ点滅の間隔が短くなります。

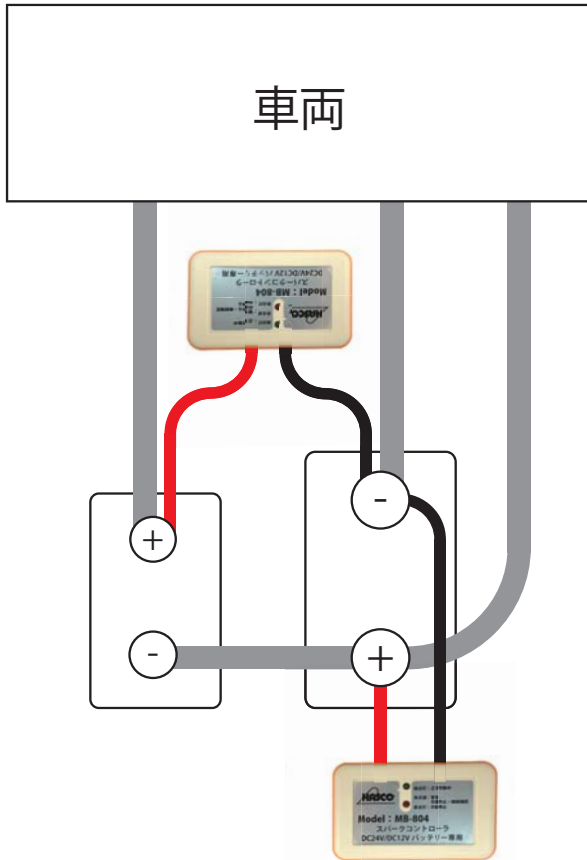


※溶接ノイズが本工具の許容上限を超えた場合

赤ランプが点灯したままブザー音が鳴り出した場合は溶接作業を速やかに中止して下さい。

※赤ランプから緑ランプへ戻った場合にのみ、作業を再開することができます。
※赤ランプ点灯のまま、もしくは緑ランプが点かない場合は購入した販売店にご相談いただき、点検・修理を依頼して下さい。

メイン電装部が DC12V 作動の車両に、
DC24V の後付架装を設置している特殊な車両に関して (ふそう 4P10 キャンター等)



- メイン伝送部 (12V)、後付架装 (24V) はそれぞれ電源が独立しているため、それぞれの電源線に本製品を使用する必要があります。(本製品が 2 ケ必要になります。)

※必ず以下の図のように各電源線に対して 1 ケずつ本製品をセットしてください。本製品 1 ケのみでは効果が発揮されませんのでご注意ください。

保証期間

保証条件について【ご購入後 1 年間】

品質的または技術的な欠陥品は、欠陥品返品修理の手順に基づき修理または新品交換致します。

欠陥品かどうかの判断は発売元が決定いたします。

当保証は、事故・不正使用・交換・意図されている目的以外での使用、

または取扱説明書に従わなかった場合の損傷につきましてはいかなる保証も致しません。

当保証は正式な販売店から購入された物に限定させていただきます。

当保証を譲渡や移転する事はできません。

発送時に発生した損傷については送付側の責任となります。

返却品・輸送方法は販売店の許可が必須条件となります。

返却時の注意事項

返却品の輸送方法は販売店の許可が必要で、

運送会社の指定等がありますので必ずお問い合わせの上、お送りください。

また、輸送時の損傷を防ぐために十分な梱包を行ってください。

返却時に発生した損傷につきましては当保証では対応できません。送付側の責任となりますのでご注意ください。